

東京薬科大学新聞

発行所 東京薬科大学 新聞会
責任者 肥沼龍太郎

五月号

合格率九割台突破

～その裏には一割未満の不合格者が～

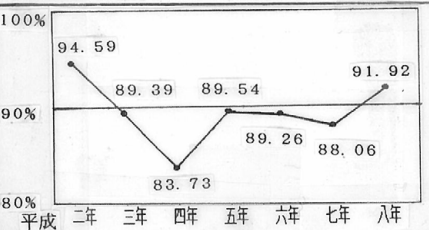
先日行われた第八十一回薬剤師国家試験の結果が発表された。(詳細は左の表とグラフを参照のこと)

今年の出題傾向が大幅に変わって初めての試験となったが、本学の合格率は六年ぶりに九割台を突破した。しかし決して合格基準が低かったわけではなかった。これらのことを含め今年の国家試験について、これから学生はどのように勉強をしていけばよいかを担当の山田泰司教授に伺った。

「今年の国家試験の合格基準は約六十五%であった。これは例年とたいして変わらない数値である。あえて『なぜ今年合格率が高かったのか』という問いに答えるのであれば、『今年は判り易い、つまり素直な問題だったから』と言えるだろう。だが内容としてはレベルの低いものではなかった。今年が判り易かったかも知れないが、回が増すにつにだんだんひねくれた問題が増えてくると考えている。また学生にはガイダンスや

第八十一回薬剤師国家試験

本学新卒	合格者数	合格率
男子	216	87.45
女子	205	96.24
合計	421	91.92
全国平均	合格者数	合格率
新卒	7,473	84.68
既卒	1,681	54.02
合計	9,154	76.69



自治議長交代

四月十七日の定例自治委員会において平成八年度自治委員会常任議長団が以下の通り決定した。(敬称略)

議長 二一D 榎本 純
副議長 二一F 田中恵理子
書記 二一F 斉藤華奈子

選管決定

先日の自治委員会において平成八年度執行委員会役員選挙の選挙管理委員会が発足し、委員長が以下のように選出された。(敬称略)

一C 陳 進慶
二一分 深谷 崇
二一F 深津 智子

「ウシ海綿状脳症」という病気を存知だろうか。今イギリスで話題となっている「狂牛病」のことだ。薬学、生命科学を学んでいる私たちも興味を持たずにはいられない。

この病気の病原体はプリオンと呼ばれる、細菌でもウイルスでもないタンパク質の粒子なのである。プリオンを作ることを指令する遺伝子は多くの動物が持っているのだが、その七百五十の塩基対のうち一カ所が突然変異を起こすだけで新しく作られるプリオンタンパク質は病原性の物質となる。しかも病原性プリオンタンパク質は接触によって正常なプリオンタンパク質への対応はできていないから後は学生諸君に頑張ってもらおうかほかにない。

確かに薬学部に入ったからには国家試験に合格することを目標としている人も多いと思うが、今年も一割近くも人が不合格となった。内定の決まっていた人の場合、不合格のため取消となることもある。そうならなかつた場合でも、社会人として働きながら試験に合格するのは全国平均の既卒者の合格率が示すように大変難しいことである。このような事態を招かないために、普段からこつこつと勉強を頑張るべきだろう。

狂牛病自体は十年ほど前に既に知られていたが、今回上げられたのは、狂牛病にかかった牛の肉を食べると人間も狂牛病にかかるかもしれないと分かったからだ。狂牛病で死んだ牛の肉や神経組織をネコやラットに食べさせると全く同じ症状を発生して死んでしまうし、イギリスの牧畜業者が「クロイツフェルト・ヤコブ病」にかかって死んでいたのは実は狂牛病であったのではないかと言われている。ちなみにクロイツフェルト・ヤコブ病は人間のプリオン病で、徐々にも広まってきた人間にも広まってきた。

狂牛病

狂牛病は人間のプリオン病で、子の異常によって起こる散发性のプリオン病であり、発病すると狂牛病と同じように運動失調と痲痺の段階を経て死に至る。

狂牛病で恐ろしいのは、十年に及ぶこともある潜伏期間の長さである。つまり現在はイギリス国内だけの話であるが、徐々に全世界へ、そして人間にも広まってきた。

その時あなただったらどうするだろうか。自分には関係ないと思うか、牛肉を食べるのをやめるか、それともいそのこと菜食主義者になるか。だが、どれれも現実的でないことに気がつくだろう。(若立 智)

そこで新委員長に今年度の抱負を伺った。

「今年度の自治委員会は学生の皆さんに親しまれるように一致団結し、協力していきましょう。何か御意見等ございましたら御気軽に委員室までお持ち下さい。御協力をお願いします。」

このように議長以下自治委員一同やる気に満ちているようであった。今年度の自治委員会の活動に注目していきなさい。

世間に出回っているお酒の値段を挙げてみると、サントリーのハイネケンが三百七十七円、V.S.O.P.が二百九十九円、スーパーニッポンが二百八十八円、などとなるけれど、それに対して美術館入場料は五百円から千五百円となり、さらにチケットなどの展覧会では無料の事も多い。このように美術館に入るのにお酒一本よりも安い。そしてそこは静かで清潔で奇麗な所で、酒場や屋台なんぞ目じゃない。また芸術作品を鑑賞することもこれからの人生にとても役立つ三つの利点を備えている。第一に、美しい物を見る心が和み、気持ちも広くなる。ストレスも解消され胃潰瘍や痔になりにくい。第二に、芸術家やその作品の題材等色々知ることが出来るので歴史、哲学、宗教の勉強になる。第三に、本の一節や誰かの一言が人の一生を変えるように、一個の芸術作品にもその力があつて、つまりそれを鑑賞することで、今まで知らなかったもの、見逃していたものに気が付き、それに伴うもの見方考え方も変わってくる。それに対してお酒は一時の快楽を過ぎない様な危険をはらむ。一昨年に急性アルコール中毒で病院送りになったのは、東京都消防庁・大阪市消防局管内だけで一万五千七十七人。死者は平均して毎年六、七人はいらぬ。またお酒が原因となる事故やいざこざ、犯罪も毎日発生し、時に殺人にまで発展している。やはりお酒を呑むより美術館へ足を運ぶ方がよい。このようにすることで次からのコンパは美術館で決まりだろ。芸術鑑賞の後、仲間達と世界平和について議論しながら珈琲でもする。お酒落かもいらない。(宗 勇仁)

そこで、今年度の選挙が学生活動にとってかなり重要なものであることを強調し、宣伝を大幅に拡大して、より多くの学生に学生自治会会員として参加して頂けるよう努力していきたいと思つています。皆さん、ぜひ五月二十日から二十二日の投票日になるまで御投票下さい。

薬味

友達の輪を広げよう

新歓行事

新入生の入学を祝って、毎年恒例の新歓行事が多数行なわれている。今回はそれらの催しを特集した。新入生だけでなく上級生も楽しめるものも多く、主催する各団体の意気込みが感じられた。なお、マラソン大会については次号掲載予定である。

新歓キャンパ

新入生の誰もがつづ不安これを解消するために企画された一大イベントが、四月一日より大学セミナーハウスで行われた二泊三日の新歓キャンプである。

昨年の秋より準備を始めたこのイベントは、天候に恵まなかったためにパーベキュー大会が中止になったが、八班に分かれた上級生の劇や、罰ゲームが待つ班対抗のレクリエーション大会等の企画が目白押しであった。これで、新入生の心の不安はだいぶ取り除かれたことであろう。

柚木オリ

四月十七日(水)から二十日(水)まで、P1Tにて恒例の展覧が開催された。これは文化部門が主催となっていて、同部門に所属する華道部・写真部・美術部・やきものクラブが合同で行う展示会で、今年も各部それぞれ個性溢れる作品が数多く出展されており、訪れた人の目を惹

春展

新歓行事のひとつである柚木オリエンテーションは、四月十三日に行われた。当日は約八十名の新入生が集まり、始まる前から大変な盛り上がりを見せていた。

参加者は十六のグループに分かれた後、大学内及びその周辺に設けられた多くのチェックポイントでのゲームで点数を競いあった。各班には一・三年生が同行して新入生にいろいろな話を聞いていたというところは大学生であることを実感できた一日だったのである。

音楽祭

四月十七日(水)と二十四日(水)の二日にわたって、毎年恒例の音楽祭がP1Tで行われた。参加した団体は、合唱団・ギターアンサンブル部・軽音楽部・モダンジャズ部・ハルモニオ管弦楽部(管弦楽団は、二十四日のみ)であった。

演奏された曲はどれもとても素晴らしい。耳の肥えた人でも充分満足していくものだった。当日にはピアノ配りが行

スポーツ大会

四月二十七日(土)に、同好会主催の新歓行事であるスポーツ大会が開かれた。新入生・上級生が混合チームを作り、本学記念大講堂体育館ではバスケットボールが、全天候コートではバレーボールが行われ大変盛り上がった。

当日は晴天に恵まれ、参加者は心身共にリフレッシュすることができたようである。新入生にとっては、新たに上級生や同学年と知り合いになる良い機会となった。来年はより多くの新入生の参加を期待したい。

学術研究発表会

四月二十日(土)、一一一講義室にて毎年恒例となっている第十七回学術研究発表会が行われた。研究の内容は大きく分けて実験に関するものと外部調査によるものであった。会場で受けが良かったのは、わかりやすかった後者の方であった。

結果については、最優秀賞は植物研究部、優秀賞が衛生数判化学研究部であった。どの部活も一生懸命な研究態度が伝わってきた良い発表会であった。来年も是非素晴らしい発表を期待したい。

平成八年度入試結果

本学の平成八年度入試結果が先日発表された。結果は左にある表の通りである。

薬学部の方は、一般入試の受験者数に減少が見られた。特にA方式での受験者数は千人を超えてはいるものの、昨年よりもさらに減少しており高倍率を逃がっている傾向のあり。逆に、推薦におけると考えられる。

一方で、生命科学部では、大幅な増減があった昨年と比べると生命科学部の推薦や

	募集人員	受験者数	合格者数	入学者数
薬学部(男子)		170	56	56
推薦	20	973	118	15
A方式	160	1,546	306	186
B方式	240	2,689	480	257
薬学部(女子)		412	69	69
推薦	20	1,079	111	12
A方式	100	1,206	202	114
B方式	180	2,697	382	195
合計	420	5,386	862	452
生命科学部(分子)		99	27	27
推薦	60	1,078	157	81
I期	15	101	13	8
II期	100	1,278	197	116
生命科学部(環境)		50	17	17
推薦	35	597	107	42
I期	10	73	12	6
II期	60	720	136	66
合計	160	1,998	333	182

平成八年度入試結果

I期における両学科の受験者数に少し増加が見られたにすぎなかった。三年目に入った同学部だが、今年も平均して高倍率で、人気の高さが続いていることをあらわしていると思われる。

医療薬学研究棟

すでに「存じ」の方も多いと思うが、バス停から階段を降りた場所に四階建ての医療薬学研究棟が新設された。

棟内には、その名の通り医療薬学関連の研究室が多くあり、その他に、セミナー室、会議室、ネットワーキングセンターなどがある。

また、吹き抜けの薬用植物園もあり、様々な植物が植えられている。緑とシルバの落ち着いた配色の中、水のせせらぎの響く落ち着いた空間が広がりが、訪れた人の心を和ませている。

ここに研究室に用事のない方にはあまりなじみのない建物ではあるが、レストラン「マグノリア」とも接続しているため、食事のついでにも訪れてみてはいかがだろうか。

行事予定

五月
十一日 マラソン大会
三月八日午前二時四十分、生命科学部長であられた水島昭二先生が国立がんセンターにて永眠されました。
発行日の都合により遅くなりましたが、この場をかりまして、新聞会一同、心よりお悔み申し上げます。

編集後記

●長いこと苦労して続けてきたことが報われるっていいですねえ。(海月)
●論説を書く。世間の厳しさを知った。(むしむし星人)
◇来月はお酒が美術館に逆襲するぞ!(宗 勇仁)
●優秀な人が多くていいぞ。ふっふ。(甲)
◇新聞会に入ったばかりに人生が狂わされていくような気がする。(六月)
◇四月七日、戦艦大和轟沈。伊藤整一中将以下三千余名戦死。(戦艦山城)
◇池袋アマラックスに東武東上線で毎週いく人をアマラーと。(森里強一)
◇最近♡と♡の歌ははまってゐるの。◆、頭パンだわ。(道路小路 響子)
◇どうも、今日良いお日柄で、足柄山も良ければいいのに。あくあ、こはこは。私には誰なのかしら。(はにい)
◇今日は寝不足マンになりたいな?えええ?駄目マンですか?じゃあ吸い吸いマンになっちゃおうかな。えへへ。(タップたぶ男)
◇うーっ 眠いぞ。みんな来ないじゃないか。小児科外科。僕は律儀にも八時に来たっていうのにいいいっ!肥ちゃんちゃん強いっ。(姿本)

NOMMO

星条旗とトルネード

者の書いたこの本を紹介する意味はない。この本の注目すべき点は別にある。

オフシーズン(の騒動)では野茂の行動にパッシングを加えていたにもかかわらず、実績を挙げた遠征に国民的英雄に

それと比べ、本書におけるアメリカのスポーツライターの記事には、日本のマスコミに

は欠けていたと思われる取材対象との距離を置く適度なバラバラ感覚が見られるのだ。我々はそのからべースボールに集約されたアメリカの夢を見る。ことが出来るだろう。

今シーズンに入り、一進一退の攻防で三勝二敗の滑り出しとなっている野茂英雄であるが(四月三十日現在、それにもなっていない)いわゆる「ノモ本」も花盛りである。

その中でもハーブ・ヒューゲン著「NOMMO星条旗とトルネード」は日・米・加で出版されたワールドワイドなノモ本である。

オールスターチームを率いて初の日本遠征を行ったビーター・レフティ・オドワールや、日本人大リーグ第一号マッシュ村上等

らのエピソードを交えつつ、著者は日米の野球の交差する地点を洗い出している。

歴史の話やMLB(メジャーリーグベースボール)も記録がふんだんに引用されているだけなら何もアメリカ人記